

「笠原型コンテンツ・ベイス」の手法を取り入れた「伝え合う内容を重視した英語活動」の事例

- ・他教科の学習内容を素材とした英語活動
- ・内容を伝え合うための必然性を重視したコミュニケーション活動
- ・「聞く」「話す」を中心にした学習
- ・気付きや発見を大切にした問題解決的な活動の重視

学校名：多治見市立笠原小学校

実施状況： 1、2年において年間35時間、3～6年において70時間の英語学習（E学習）を実施

週2回の朝15分間の全校英語活動（E活動）を実施

指導体制： E学習：学級担任とALTによるTTで指導

E活動：英語担当による全校放送と学級担任による学級での指導

その他：文部科学省指定研究開発学校（期目 H18～H20）小中一貫教育

（1）学校の教育目標

- ・やさしく かしく たくましく

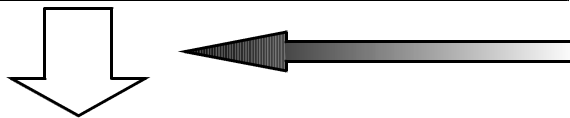
（2）英語活動を通して目指す姿

児童の姿のとらえ

- ・英語に対する興味・関心をもち、英語を身近に感じる児童が育ってきている。
- ・あいさつなどの慣れ親しんだ英語表現を使う姿や耳慣れた言葉を発する児童が育ってきている。
- ・積極的に英語を使って生き生きとコミュニケーションをする児童の姿にやや弱さがみられる。
- ・実態調査から、英語活動について「少し楽しい」「楽しくない」と回答した児童に5年生が12%、6年生に20%いる。

英語活動に期待する役割

- ・本当に伝えたいことを互いの目を見合せて生き生きとコミュニケーションする姿を育てる。
- ・知的好奇心をくすぐる内容をやりとりすることによって進んでコミュニケーションを図ろうとする児童を育てる。



英語活動を通して実現を願う児童の姿

相手の話を積極的に聞こうとし、自分の思いを進んで話そうとする姿。

反応をしながら英語を聞いて相手の意思を理解するとともに、英語や身振り、具体物等を使って自分の意思を相手に伝えることができる姿。

(3) 評価の観点と目指す姿 (第 3 ・ 4 学年の例)

第 3 ・ 4 学年の目標		英語を聞いたり話したりする活動を通して、コミュニケーションを図ることの楽しさを味わうことができる。	
観 点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	聞く姿	話す姿
目 指 す 姿	・自分の伝えたいことをわかりやすく伝えたり、相手の伝えようとすることを分かろうとしたりする。	・内容を考えながら聞く。 ・問い返しやあいづち等の反応をしながら聞く。 ・英語の音やリズムを注意深く聞く。	・身振りや手振りを加えて積極的に伝えようとする。 ・聞き手を意識しながら話そうとする。 ・知っている言葉を駆使しようとする。

(4) 指導方針 (本年度の重点実践内容)

笠原型コンテンツ・ベイストを土台にした年間指導計画の改善

< 年間指導計画の作成に当たっての配慮点 >

児童が興味をもつことができる題材であること

単元における各単位時間の役割を明確にし、1 時間ごとのつながりに配慮した指導計画に改善すること

児童にとって平易で汎用性の高い英語表現をより多く取り入れること

聞く活動を多く入れること。母語においてそうであるように、言語を身に付けるためには、意味ある理解可能な言葉をできるだけ多く耳にすること

児童が主体的に英語によるコミュニケーション活動をする学習過程の工夫

英語によるコミュニケーション能力を育てるには、自らコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を身に付けなければならない。そのために、児童自らが活動への課題意識をもち、その課題解決に向けてステップを踏んで学習を進めていくことが重要である。そこで、本校は、Song time, Activities time, Comments の 3 つの過程で 1 単位時間の授業を構成した。

問題解決的な英語活動の工夫

高学年になるにつれて、児童は「ごっこ遊び的な活動」や「ゲーム的な活動」に対する興味が減少していく。児童が興味を持続し、英語活動に積極的に参加できるようにするためには、活動を通して何か新しい発見や気付きがある授業を仕組むことが重要であると考えている。そこで、学年の実態に応じて次の要素を含んだ英語活動を工夫した。

児童が知的な好奇心をもって活動や学習に向かうことができる内容



思考、判断、気付き、課題解決、発見、驚きのある英語活動

豊かな表現力を養うための題材の系統化

年間指導計画の単元「春の図鑑」「夏の図鑑」「秋の図鑑」「冬の図鑑」のように「季節」というシリーズものは、「春の図鑑」の言語材料にさらにいくつかの言語材料を加えて次の季節の単元指導計画を立てることができる。それによって、児童がその単元を学習するごとにその英語表現に慣れることができる。さらに語彙力も膨らみ、豊かな表現力を養うことができる。

(5) 具体的実践
指導計画

第4学年	題材「秋の図かんを作ろう」	指導時期 10月
指導目標	<p>・教師と児童、児童同士で、"Is this a fall~(flower, insect, fruit, vegetable)?" "Yes, it is. Maybe, yes. / No, it isn't. / Maybe, no." のやりとりをしながら、秋の花や虫、旬の野菜や果物などを知り、秋の図鑑を作り上げる活動を通して、英語に親しむとともに相手に自分の考えや気持ちを伝えようとする態度を育てる。</p> <p style="text-align: right;">全4時間</p>	
言語材料	<p>"What's this?" "It's a ~." "Is this a fall flower(insect, fruit, vegetable)?" "Yes, it's a ~. "Maybe, yes. / No, it isn't. / Maybe, no." "Where can you see?"</p> <p>(cosmos, sunflower, morning glory, cherry blossoms, grasshopper, dragonfly, beetle, cicada, sweet potato, peanuts, mushroom, potato, onion, watermelon, grape, oranges, persimmon, chestnut, apple)等</p>	
教材・教具	ピクチャーカード・評価カード	

時間	ねらい	主な活動内容・設定する場面等	主に扱う言語材料
1	<p>・秋のイメージを持ち、"Is this a fall flower (insect)?" "Yes." "No." のやりとりをしながら、秋の花を知り、情報を集めることができる。</p>	<p>(1)Greetings (2)Let's sing a song! "Twelve Months" (3)Activities Time 秋の色をイメージして図鑑に書き込む。 絵カードで花や虫の言い方に慣れる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">秋に見られる花や虫を見つけよう</p> </div> <p>秋に見られる花や虫を個人で予想した後、ペアで体験や知識などを話したりして自分の答えを決定する。 Answer Check Time(写真などを黒板に提示しながら)児童は、シートに貼り、図鑑にする。</p> <p>(4)Comments</p>	<p>Is this a fall flower (insect)? Yes, it is. Maybe, yes. No, it isn't. Maybe, no.</p> <p><評価> ・はっきりとした声で話すことができたか。 ・話を反応しながら聞くことができたか。 ・やりとりをして、情報を集めること</p>

		(5)Greetings	ができたか。
2 本時	<p>・秋の野菜や果物を予想したり、 "Is this a fall fruit (vegetable) ?" "Yes. / No. / Maybe, yes. (Maybe, no. I don't know.)"のやりとりをしながら、秋に畑や山にできる作物の情報を集めることができる。</p>	<p>(1)Greetings (2)Let's sing a song! "Twelve Months" (3)Activities Time 3 ヒントクイズをしながら、野菜や果物の言い方に慣れ親しむ。 " Do you like ~ ? "と聞いたり、3 ヒントクイズやジェスチャーをしたりしながら、野菜や果物の言い方に慣れ親しむ。 "Vegetable 3 Hint Quiz. " ALT:Hint No 1 : The shape is an oval. Hint No 2 : The color is purple. Hint No 3 : It's sweet. ・数名の児童と ALT がやりとりする。 C (児童) :Maybe~. ALT:The answer is a sweet potato.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>秋に畑や山にできているものを見つけよう</p> </div> <p>秋に見られる野菜や果物を予想し、プリントに や×を書き込む。 児童同士で予想を聞き合い、自分の予想と比べながら聞いたり、反応したりする。 Answer Check Time (写真などを提示しながら)児童はシートに貼り、図鑑にする。</p> <p>(4)Comments (5)Greetings</p>	<p>Is this a fall vegetable? Yes, it is. No, it isn't. Me, too. Not same. sweet potato peanuts, mushroom, potato, onion, matsutake, watermelon, grapes, persimmon, chetsnut, apple</p> <p>< 評価 > ・はっきりした声で話すことができたか。 ・話を反応しながら聞くことができたか。</p>
3	<p>・ "Where can you see? On(In / Under / Behind) the~."のやりとりをしながら、秋の野菜や果物などがどんな場所にできるのか情報を集めることができる。</p>	<p>(1)Greetings (2)Let's sing a song! "Twelve Months" (3)Activities Time 絵を見ながら秋に見られるものを思い出す。 絵を見ながら前置詞の使い方に慣れ親しむ。ALT と HRT のやりとりをモデルとし、ALT と児童そして児童同士という順に表現に親しむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>秋の野菜や果物はどこにできるのだろう</p> </div>	<p>This is a chestnut / matsutake / peanuts....</p> <p>Where can you see? Under the ground? In the tree? Where can you see? Maybe on the tree / on the ground. Really? Not same.</p> <p>< 評価 > ・はっきりとした声</p>

		<p>予想を立て、ワークシートに書き込む。児童同士で予想を聞き合い、自分の予想と比べながら聞いたり、反応したりする。</p> <p>Answer Check Time</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT と児童とやりとりしながら答え合わせをしていく。 <p>(4)Comments (5)Greetings</p>	<p>で話すことができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 話を反応しながら聞くことができたか。
4	<p>・ "On(In / Under / Behind) the~"の言い方に慣れ親しみ、先生の話聞いて、秋のものがどこにあるのかを伝えることができる。</p>	<p>(1)Greetings (2)Let's sing a song! "Season's Chants." (3)Activities Time</p> <p>“Where's spot?”(絵本)を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 箱やイスを使って on / in / under / behind の使い方を知る。 ALTの指示を聞いて、実際に動く。 <p>ALT:"Please sit down on the chair." C: 椅子に座る。</p> <p>ALT:"Please hide under the table." C: 机の下にもぐる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">先生の英語をよく聞いてどこにいるかをさがそう。</div> <p>何がいるか(あるか)をやりとりする。</p> <p>ALT:What can you see? HRT:I can see dragonflies.What can you see? C:I can see ~.</p> <p>絵本の中に何がいるのか(あるのか)を児童とALTとでやりとりする。</p> <p>ALTがStoryを話すように話をし、どこに何があるかを探す。</p> <p>ALT:A boy find a dragonfly. He wants to catch that dragonfly. But that dragonfly flies away into the sky. Where can you see the dragonfly? C1:I can see (it) in the sky. C2:Me, too. ALT:That's right.</p> <p>(4)Comments (5)Greetings</p>	<p>On(In/Under/Behind) the~.</p> <ul style="list-style-type: none"> Slowly, please. One more time, please. I know. Let me try. I see. Me, too. Same. / Not same. <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本を聞いて、秋のものがどこにいるのかをはっきりとした声で伝えることができたか。 話を反応しながら聞くことができたか。

授業の特徴

- ・本年度、本校が特に大切にしてきたのは、「問題解決的な活動の工夫」と「聞く活動の重視」である。児童の実態を考慮しながら、本単元も、この2点に配慮して、昨年度までの指導計画を改善したものである。秋のイメージを色で表したり、興味のある秋の生き物や食べ物についてやりとりをしたりしながら、さらにそれらがどこで見られるのか（地面の上・下/木）など、児童の興味・関心の対象を探りながら組み立てた。また、単元の終末となる第4時は、教師の話をよく聞いて秋のものがどこにあるのかをやりとりする「聞く活動」の時間を十分に確保した。

授業の流れ（2 / 4）

過程	主な活動		評価・指導・援助
	児童	教師(HRT, ALT)	
Greetings	Hello ! 先生 I'm fine. How are you? It's sunny.	Hello ! Everyone! How are you?Oh,fine thank you! How's the weather today?	<ul style="list-style-type: none"> ・発音の苦手な児童には、口形を示しながら教師について発音させることで、正しい発音を身に付けさせ自信をもたせる。
Song time	" Twelve Months "	Let's sing a song. "Vegetable 3 Hint Quiz. "	
Activities Time	Maybe,onion? It's a sweet potato. (野菜) sweet potato ・peanuts・mushroom ・potato・onion・matsutake (果物) watermelon・grapes・persimmon・chestnut ・apple	ALT: Hint No 1 : The shape is an oval. Hint No 2 : The color is purple. Hint No 3 : It's sweet. The answer is a sweet potato. ・フラッシュカードで野菜や果物の言い方に慣れ親しませる。 ・先生、Peanut is a fall vegetable? ・We can eat them all the year around. But I think it fall.	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT と担任が交互に問題を出しネイティブの英語に慣れさせる。 ・自信のない時は Maybe、同じ時は Me,too 等を使うように、強調したり、繰り返ししたりして児
	秋に畑や山にできているものを見つけよう	ALT : Is this a fall vegetable? HRT : Yes, it is. ALT : Me, too. (shake hands together). HRT : Is this a fall vegetable? ALT : No, it isn't. HRT : Really? Not same.	
	・秋に見られる野菜や		

<p>Comments</p>	<p>果物を予想し、プリントに や×を書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達同士で予想を聞き合い、自分の予想と比べながら、聞いたり相手に反応したりして、自分の答えを決める。 Yes, it is./No, it isn't. ・コメントカードに感想を書き、発表する。 Eye contact Clear voice Try More English に向けてがんばったこと。 コンテンツについて驚いたことや気付いたことなどを発表する。 	<p>HRT:Answer Check Time! ALT:Is this a fall fruit? Yes.This is a fall fruit. (No.This is a summer fruit.)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HRT は主に授業への関心意欲・態度の面から、ALT は英語でのコミュニケーション（技能面）から児童に今日の評価を話す。 	<p>童に聞かせていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童一人一人に予想をカードに書き込ませ、英語のやりとりの前に足場としての必然性をもたせる。 ・ 黒板に Fall vegetables /fruits Not fall vegetable/fruits.を書いて分類して表示することで、全員が視覚的に捉えることができるように配慮する。 <p>< 評価 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本を聞いて、秋のものがどこにいるのか（あるのか）をはっきりした声で伝えることができたか。 ・ 話を反応しながら聞くことができたか。
-----------------	--	---	--

(6) 実践の検証

実践授業：「秋の図かんを作ろう」の個人評価カードから、
コミュニケーションをすることによって児童が得たもの。

A 男 今日秋のフルーツや野菜を考えることができてよかった。ピーナッツは、果物と思ったけど、秋の野菜だということがわかっておどろいた。

* 新しい発見に気付いた姿

B 子 今日は、となりの子と話して、「いっしょだね。(Me, too.) 」と反応しながら、できたのでよかったです。

* 相手の言ったことを自分と比べながら聞き、反応している姿

C子 今日、となりのせきのDくんが、はんのうしながら聞いてくれたのでよかったです。

*相手の反応を見ながら話している姿

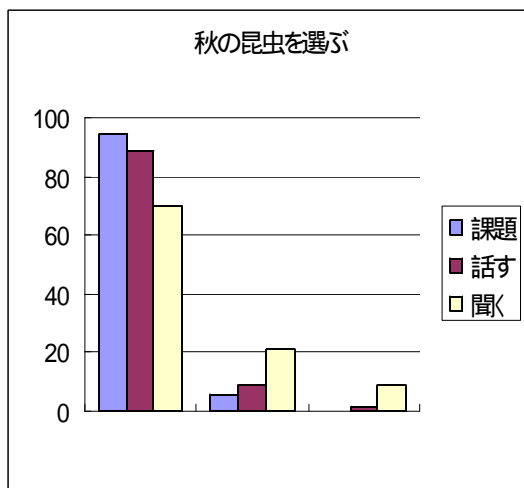
D男 今日、英語のやりとりをしながらできたので、よかったです。あと、りんごが秋のくだものなんてはじめて知ったのでおどろきました。

*コミュニケーションによって新しい発見をした姿

E子 今日、となりの席のGくんが、"Me, too."とってくれたのでわたしはうれしかった。

*英語学習の内容に楽しさを感じ、次時への期待をする姿

児童の自己評価データから見る学習の様子



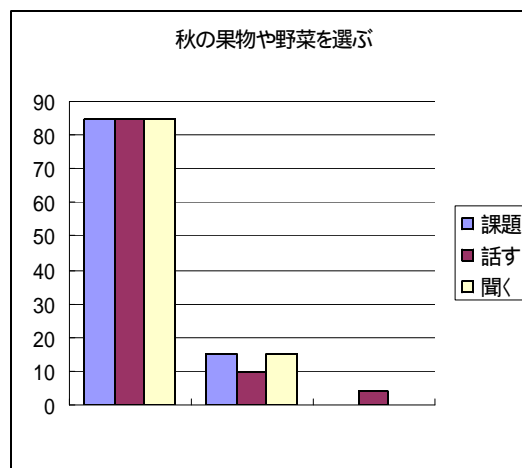
「秋の図かんを作ろう」
第1時「秋の花やこん虫を考えて、選ぶことができましたか。」

分析
第1時の課題ができたと考えている児童が90%を超えている。「話すことができた」と考える子がほぼ9割いる。

(%)

「秋の図かんを作ろう」
第2時「秋の果物や野菜を考えて、選ぶことができましたか。」

分析
「課題解決や話す、聞くができた」と答えた子は、どれも80%以上が十分できたと答えている。これは、秋の果物や野菜を身近に感じ、多くの子がこれまでの体験を土台に話すことが容易であったためである。本時では、「話すことができなかった」と感じた子がわずか4%（約4人）であったが、担任が実態を把握し意図的な指導をしていく必要がある。



(%)

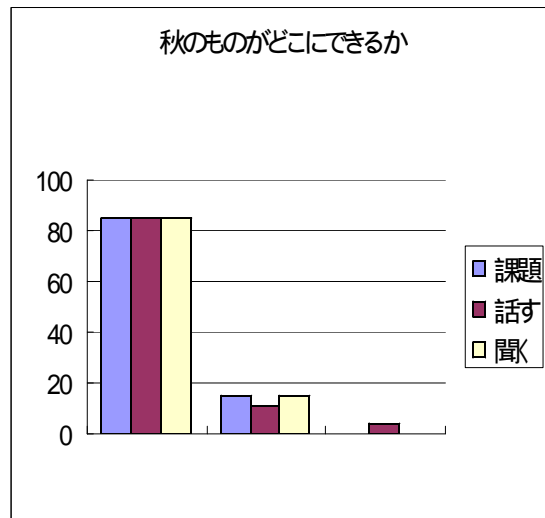
「秋の図かんを作ろう」

第3時「秋のものがどこにできるか考える
ことができましたか。」

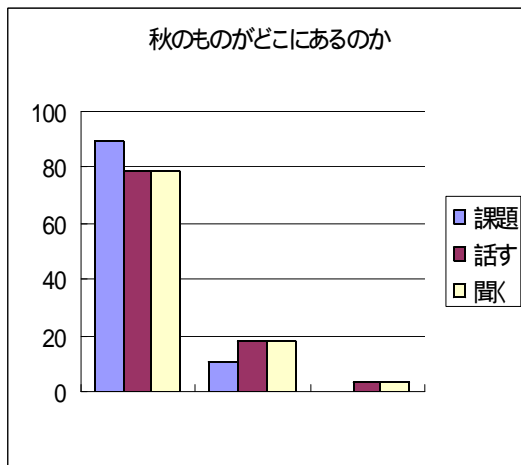
分析

課題「秋のものがどこにできるか」

野菜や果物が地上にできるのか、地下にできるのか、地中にできるのかを考えていく授業である。この課題に関しては、子どもたちは、経験が少なく、話し合いの中で気付きや驚きがあった。自分の考えを多くの子が伝えることができた。第2時より、難しい課題ではあったが、経験を話しながら予想し合う姿も見られた。



(%)



(%)

「秋の図かんを作ろう」

第4時「秋のものがどこにあるかを見つける
ことができましたか。」

分析

課題「秋のものがどこにあるか」

秋のものがどこにあるかを見つける最終の時間であった。課題に対して、積極的に活動ができ、と評価した子が多くいた。また課題が、「できなかった」と感じた児童は、0%であった。

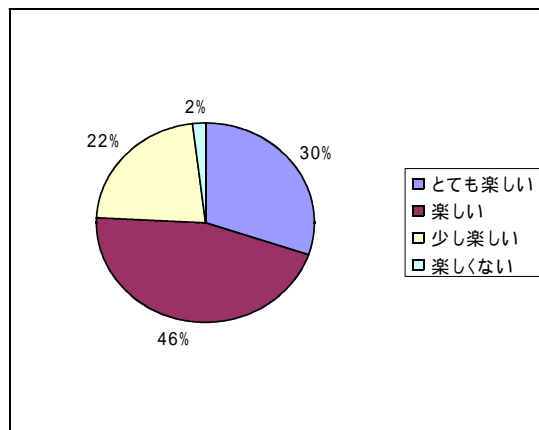
【考察】

- ・課題に対して、よくできた()と答えた児童が、単元「秋の図かんを作ろう」のどの時間も課題に対して8割を超えていた。「できた」と答えた児童も含めると98%の子が「できた」という思いを持てたことになる。児童にとって無理のない課題であり、課題までのステップも児童の実態に合っていたと言える。
- ・課題に対して「あまりできなかった」と答えた児童はわずかではあるが、担任が学習後に個別に指導する必要がある。

4年生の調査から

ア) 意識調査 : 英語の勉強は楽しいですか。

【4年生の意識調査】 (H19年度)



現4年生の4年間の意識調査の変遷

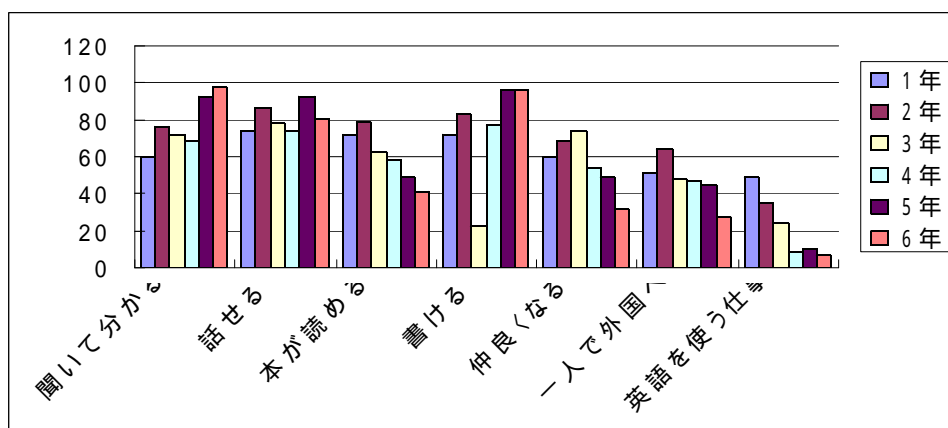
	1年(H16)	2年(H17)	3年(H18)	4年(H19)
とても楽しい	82	69	50	30
楽しい	10	25	41	46
少し楽しい	6	4	8	22
楽しくない	2	2	1	2

【考察】

- ・ 学年が進むにつれて、「とても楽しい」と感じている児童が減少してきている。
- ・ 英語の楽しさの中身については、学年によって児童の意識の違いが出てくる。
例えば低学年では、リズムカルな活動を伴ったものを楽しみを感じる。中学年の4年から高学年にかけては、知的な好奇心をくすぐるものを求める。4年生の「少し楽しい」「楽しくない」と思う児童を「楽しい」と感じさせるためには、4年生に合った知的好奇心をくすぐるコンテンツをさらに探る必要がある。

イ) 意識調査 : 英語を勉強して何ができるようになりたいですか？

いくつでも をつけてください。(人)



< 4年生 >

- ・ 英語の歌を完璧に歌いたい。
- ・ 英語の字を読めるようになりたい。

- ・英語を教えたい。
- ・英語で役に立ちたい。

ウ) 意識調査 : 外国の人に英語であいさつされたら自分はどうすると思いますか。
自分に一番近いと思うものひとつに をつけましょう。(%)

英語で挨拶	恥ずかしいけど 挨拶	動作や日本語で	言葉に出ない	黙っている	知らん顔
43	39	9	4	2	3

【考察】

- ・4年生の児童の意識は、「英語であいさつをしよう」とか「はずかしいけどあいさつをしようとする」が82%を占めている。これは、外国の人を区別しない意識と挨拶ならいつでもできるという気持ちをもっている。違和感をもたないALTとの自然な会話から培われたものであると考える。

< 成果と課題 >

成果

コンテンツの検討

本校の英語学習は、「笠原型コンテンツ・ベイスト」と言って、意味のある内容について英語でやりとりするものである。授業の終末では、やりとりをして新しい発見や気付き等が児童に生まれるような英語学習を目指している。今年度も、それを目指して各学年単位で内容の検討を十分に行っていこうと努力することができた。

言語材料の見直し

英語学習の指導計画を仕組んでいく際に、言語材料が盛りだくさんになり、児童に負担が大きくなることがあった。しかし、既習の言語材料や汎用性の高い言語材料を選ぶことによって、児童の実態に合った表現活動を目指すことができた。

話す必然性を見いだす工夫

児童が課題(ゴール)に向けて「コミュニケーションをしたい」という思いにするために、児童の間にインフォメーションギャップがあることが大切である。本単元では、児童の季節ごとの昆虫や果物等についての体験や知識が異なることが、インフォメーションギャップにつながった。

今後の実践の方向

年間指導計画の見直し

年度が変わるごとに、前年度の単元を見直している。アンケート結果にあるように、学年によって、おもしろいと思う内容にはちがいがあある。4年生に合った知的好奇心をくすぐるコンテンツを探る必要がある。

コンテンツと英語表現とのバランス

児童に興味関心があり、知的なおもしろさがある内容を大切にしていくが、とすると、言語材料が実態と合わないことがある。全学年のデータベースをもとに既習表現や汎用性の高い言語材料を十分吟味する必要がある。

内容と言語材料のバランスは、大きな課題である。

来年度は、異学年との英語協同学習や中学生との英語協同学習を位置付け、児童の動機付けや英語を使う必然性を生かしていきたい。

(7) 中学校における英語教育との連携

以下の点から、中学校との連携を積極的に推進している。

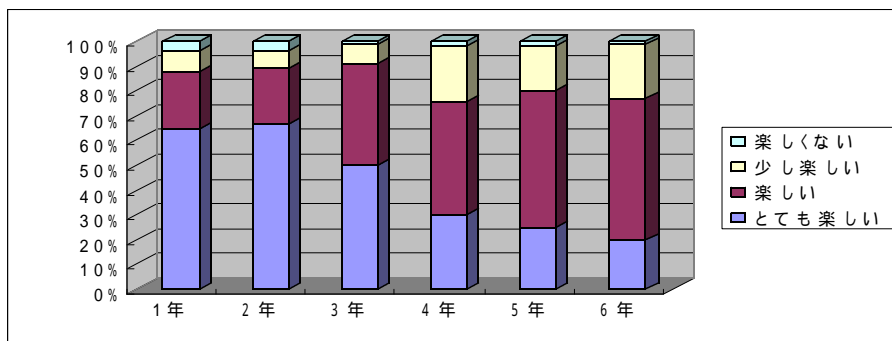
実態把握の調査及び個々の児童の学習状況について中学校に引き継ぐ。

小学校で学習した英語に関する題材、内容、言語材料等についてのデータベースを中学校と共有する。

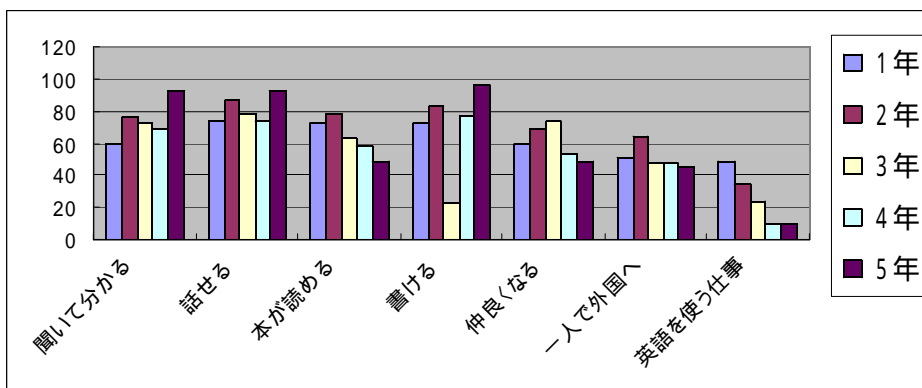
相互に研究授業を参観し、小中接続による英語教育を共同研究する。

《 についての例 》意識調査：小学生の英語に対する思いをアンケート形式で捉える。

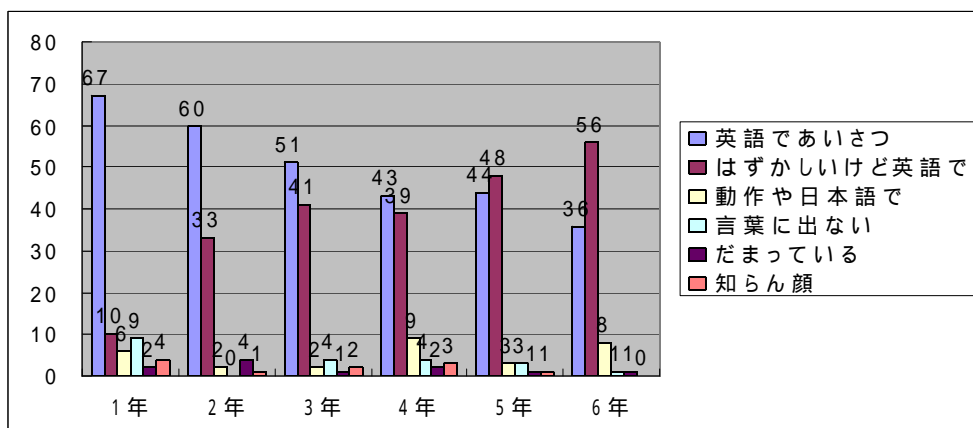
例ア) 1. 学校で行う英語の勉強は楽しいですか。



例イ) 4. 英語を勉強して何ができるようになりたいですか。いくつでもをつけてください。(人)

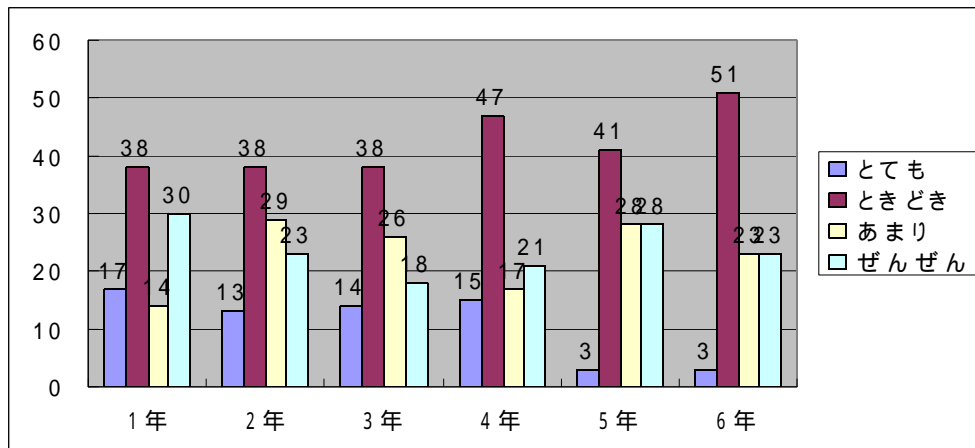


例ウ) 5. 外国の人に英語であいさつされたら自分はどのように思いますか。自分に一番近いと思うもの一つに つけましょう。(人)



例工) 6. 学校でならった英語を家で話すことがありますか？

(人)



(8) 資料

資料1 活動で使う教材・教具

- ・歌のCD "Twelve months"
- ・カード(L 掲示用・S 児童用): 果物と野菜



果物: watermelon / grapes / apple / persimmon / chestnut

野菜: sweet potato / peanuts / mushroom / potato / onion

資料2 実際の活動の場面



(ア) 課題提示

英語による3ヒントクイズやジェスチャーをしたりしながら、野菜や果物の言い方に慣れ親しむ。

その後、季節の話題を出しながら、課題提示をしていく。

(イ) 児童同士の英語でのやりとり

児童同士で予想を聞き合い、自分の予想と比べながら聞いたり、反応したりする。

C1: Is this a fall vegetable?

C2: Yes. Me, too.

C1: Is this a fall vegetable?

C2: Really? Not same.



< A L T からのコメント >



< 担任からのコメント >



(ウ) Comments

- ・児童：「コメントカード」に友達とのやり取りの中で発見したこと、気付いたこと、そして、友達のよかった点（英語をたくさん使った。相手にわかる声の大きさで言えた。目を見てコミュニケーションできた。） <More English / Clear Voice / Eye contact>を感想に書き発表する。
- ・A L T：主に英語表現について評価する。
- ・担任：進んで英語を使おうとする姿、進んでコミュニケーションをしようとする意欲的な姿、進んで仲間と関わろうとする姿について評価する。

資料3 データベースの小中の共有化の例

* 学年 教科 カテゴリー1（教科の内容） カテゴリー2（コミュニケーションのスタイル：（対話／発表など） 題材名 学習内容 言語材料に分類している。

学年	教科	カテゴリ 1	カテゴリ 2	題材名	学習内容	学習内容	言語材料
小3	理科	生物	対話	私の好きな昆虫	昆虫の名前を知る	昆虫の食べ物を知る	Do you have beetle?
小4	理科	日常	対話	春の図鑑を作ろう	春の昆虫を選ぶ	春の野菜を選ぶ	Is this a spring insect?
小4	理科	生物	対話	虫たちはどこ	絵を見て生き物を見つけよう	春の野菜や果物は、どこにできるのだろうか？	Where can you see a butterfly?
小4	理科	日常	対話	夏の図鑑を作ろう	夏の花を選ぶ	夏の果物や野菜は？	Is this a summer fruit?
小4	理科	日常	対話	秋の図鑑を作ろう	秋の花や虫を選ぶ	秋の果物や野菜は？	Is this a fall flower?
小4	理科	日常	対話	冬の図鑑を作ろう	冬の野菜を選ぶ	冬の果物や野菜は？	Is this a winter vegetable?
小5	理科	環境	対話	天気を調べよう	日本の天気図を完成させよう	天気を予想し、天気図を作ろう	What weather do you like?
中1	理科	生物	発表	オリジナル動物園を作ろう	特長から動物あてクイズ	動物の良さを伝える	Please come to 'The Movie Star Zoo'.
中1	理科	生物	発表	私だけの花壇を作ろう	花の部分を表すスピーチ	花びらの色や数の問答	I chose tulips and pansies.
中2	理科	科学	対話	Let's become a jewel doctor!	誕生石の名前と石の意味	誕生石の硬さ調べ	It's harder than a ruby.
中2	理科	生物	発表	より魅力的な新しい生物を作ろう	人為的な植物の神経衰弱	バイオ生物を名付ける	I named this 'Tigog'.
中2	理科	生物	対話	野菜の花はどん花？	植物や果物の花を知る	花の特長を説明	It has six samll petals.
中3	理科	科学	対話	Spase travering	惑星の特長を伝える	惑星の特徴を伝える	It is the first planet from the sun.
中3	理科	科学	討議	恐竜はなぜ絶滅しかた	テーマの設定	恐竜絶滅説の証拠当て	I think dinossours become too big.